

(2019年12月)

中途視覚障害者に対する点字学習指導法研修会について

事務局

点字習得を望む中途視覚障害者が、各地域で学習できる環境を整えるため、2018年度から年2回のペースで開催している「中途視覚障害者に対する点字学習指導法研修会」を、2019年度は以下のように開催しました。

第3回：2019年5月25日（土）～26日（日）札幌市視聴覚障がい者情報センター
（受講者23人、修了者15人）

第4回：2019年11月30日（土）～12月1日（日）北九州市立点字図書館
（受講者18人、修了者17人）

2会場とも、ご厚意により会場を無償でご提供いただきました。

第4回研修会を受講された方のうち、お二人に感想文をお寄せいただいたのでご紹介いたします。

第4回中途視覚障害者に対する点字学習指導法研修会に参加して

伊藤 邦子（埼玉県）

今年（2019年）3月、元の職場で行なっている「中途視覚障害者のための点字教室」から、スタッフとして手伝ってほしいと頼まれました。点訳関係の仕事に長く携わっていたので、対応できるだろうという見込みで声をかけられたのだと思いますが、実のところ点字触読指導の経験はまったく無く自信がありませんでしたから、すぐには引き受けるという返事ができませんでした。

しかし、退職後の自由の身ではありましたので、しばらく考えた後、この機会に新しいことに挑戦してみようと、思い切って引き受けることにしました。

事前に指導の概略説明を受けたり、実際の教室を見学したり、『中途視覚障害者への点字触読指導マニュアル』（澤田真弓・原田良實編著）に目を通したりして、4月からの教室に備えましたが、心もとない状態でした。

そもそも自分自身が点字を触読できない状態でしたから、点字を覚えようとされている方に適切なアドバイスができるはずもありません。生徒さんと一緒に……というより生徒さんの後を追って自分も触読の練習をしていくという感じでした。

そんな時、日本点字普及協会が開催している「中途視覚障害者に対する点字学習指導法研修会」のことを思い出し、受講してしっかり勉強したいと思いました。5月の札幌での第3回には間に合いませんでしたが、11月末に北九州市で第4回が開催されるという情報を得て、遠方ではありましたが、早速申し込みました。

2日間の研修は、充実した時間でした。協会の藤野克己さんの進行で、講師の原田良實先生と18名の参加者が口の字形に並び、それぞれ自己紹介をして、和やかな雰囲気が進められました。

中途視覚障害者への点字指導についての考え方の概論のあと、導入方法として「縦読み」「L点字」の採用についてのお話がありました。

実際にL点字プリンタで印刷された30ページの教材が用意され、それを（アイマスクをして）触りながら、指先でどのように感じるか、読み取れるかを体験しました。

また、原田先生と受講生との1対1の指導場面では、指導者としての対応の仕方を見学し、その後、受講生同士で生徒と指導者を実践してみるというワークショップ形式での研修は、大変学びの多いものでした。

この研修会を受講する前にも「縦読み」のことをテキストで読んでいたので、そのように触読を自習してはいましたが、点が混み合っ続けるところなどではマスの区切り目もわからなくなり、何分も触り続けながら悶々としていました。目で認識する点字の形と指先で感じる形とでは意外に印象が違うことも実感しました。

今回「縦読み」について丁寧に説明していただき、迷路に迷い込むような状況がだいぶ解消されてきました。

「1段目（①④の点）→2段目（②⑤の点）→3段目（③⑥の点）と触っていき、点なのか棒（2点ある）なのか、点だったら左なのか右なのかを確認し、2段目→1段目と戻り、一マス分右に移動する。スペースも同じように触っていく。」という手順を確実にたどればちゃんと読めるということを実感しました。

幼い頃からの点字使用の友人は、「どうして読めないかわからない」ということを話してくれましたが、人生半ばで点字触読に挑戦している当事者の方と「わからない」「読めない」というつまずきを共有できるのは案外メリットなのだなとも思います。

ザラザラ、ボツボツの点の羅列が、「言葉として」「文章として」立ち上がってきたときの喜びは、パーッと青空が広がるような高揚感です。さらに、1ページ15分で読めるスピードを目指して頑張ります。

研修会で得たことを、これからの点字教室で生徒さんと共に歩みながら生かしていきたいと思います。

素晴らしい研修会を企画・運営してくださった協会、スタッフの方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

第4回 中途視覚障害者に対する点字学習指導法研修会に参加して

立石 真澄(福岡県)

『あなたは、えらいわね。こんなに難しい点字を勉強するなんて。私は読めないし、読もうとも思いません。』これから点字を学ぼうとしている人に、そう言っていないか。」

講師の原田先生が冒頭におっしゃった言葉です。中途視覚障害の方に点字を教える時、

私は、これまでそのようなことを言っていたかもしれませんが、もちろん、「頑張っ
て」という励ましの気持ちはあふれるほどもっていましたが、自分が読む努力をしたことも
ないのに、「難しいものだ」と思いこんで、相手に伝えていたと思います。これから点
字を学ぼうとする方が、この言葉を聞いてどう思うかなど考えもせず……。だから、
原田先生の最初におっしゃった言葉を聞いた時は衝撃でした。

私は、現在、盲学校に勤めています。学校では、在籍の生徒を教えるだけでなく、地
域に在住する視覚障害のある方への教育相談を担当しています。これまでに、中途の視
覚障害の方に点字を教える機会が数回あり、その際には、先輩の先生方から教えてもら
った方法(教材は大きな点字で作る。指を縦に動かしてよい。等)で教えていましたが、
中途視覚障害者への点字触読指導についての研修は受けたことがありませんでした。そ
こで、研修会でしっかりと指導法を理解し、技術を身に付けたいという気持ちで参加を
申し込みました。

今回の研修会では、新しくたくさんの方のことを学びました。特に心に残っているのは、
「視覚障害に寄り添っていくことの大切さ」です。中途視覚障害の方は、「残存感覚で
現実を想像し、記憶に基づいて行動する」ということ、だから、触読指導の際には、「触
った文字は、どのような感じだったか、言葉でやり取りしながら、記憶に基づいて教え
ていく」ということです。一対一で、言葉でやり取りをしながら教えていくという、触
読の指導の基本の考え方を知ることができました。

また、触り方については、理論だけでなく、先生と受講生のやり取りの場面を通して、
具体的に教えていただきました。どうして縦に指を動かすのか、どんなことに注意して、
どの順番で指導したらよいか、これまで曖昧だった知識が根拠をもって理解できるよう
になりました。

教える立場と教わる立場の両方で指導場面を体験したことも大きな学びにつながりま
した。実際にアイマスクをつけて、体験してみると、「う・れ・め・ふ・あ・い・に・
な……」と、自分が読めることにびっくり。そして、同時に「もっと読みたい。」と
いう気持ちで胸が一杯になりました。点字を学ぶ人がこんな気持ちになってくれたら
いいなと身をもって感じることもできた瞬間でした。また、教わる側を体験したことで、
教える側になった時、どんなところが難しいかを想像することもできました。最初はぎ
こちなかった教える側と教わる側の関係でしたが、「読めるようになりたい・読めるよ
うになってほしい」という相互の思いが通じ合ったのか、次第に和み、気がつけば、熱
の入った、心地良い時間を共有していました。

今回の研修で学んだことを、身近なところで実践していこうと思います。時間はかか
るかもしれませんが、今後も読むことを続けていきたいと思っています。そして、原田
先生が研修会の冒頭でおっしゃった、「点字を学ぼうとする人にかけてほしい言葉」を、
これからは私も言いたいです。

「私も、やってみて読めるようになったよ。あなたならできるよ。一緒に頑張りました

よう。」

研修会を九州で開催していただき、感謝しています。講師の原田先生、協会の皆さん、素晴らしい研修会をありがとうございました。

「サイトワールド2019」での点字普及イベント

日本点字制定記念日の11月1日に、今年もサイトワールドの会場で点字普及のイベントを行いました。

テーマ：「11月1日 今日、日本点字129歳の誕生日」

日時：2019年11月1日（金）14時～16時

会場：すみだ産業会館 9階 会議室1・2（「サイトワールド2019」会場）

内容：

講演1 「点字が拓いた弁護士への道」

講師 大胡田 誠 氏（弁護士）

講演2 「点字とともに夢に向かって」

講師 菅田 利佳 氏（東京大学学生）

お二人とも、ご自身の歩みの中で点字がいかに重要だったかを話され、約80人の聴衆は熱心に聞き入っていました。

なお、2020年は日本点字制定130年の節目に当たるので、点字普及協会として引き続き点字普及のイベントを行う予定です。

【お知らせ】

1. トツテンくんの販売状況

（有）読書工房によると、2019年12月20日現在、トツテンくんの販売状況は5,061台です。5色のカラーごとの売れ行きは、それほど大きな差はないものの、1位グリーン、2位ブルー、3位ピンク、4位クリーム、5位ホワイトの順とのことでした。

読書工房では、今後ネット販売を行って販路を広げて行く予定です。

2. 2020年度の予定

現時点での点字普及協会の2020年度の予定をご紹介します。今からご予定に入れてくださるようお願いいたします。

2020年4月19日（日）新宿NPOセンターまつり参加

4月25日（土）総会・研修会（新宿NPO協働推進センター）

5月9日（土）・10日（日）第5回「中途視覚障害者に対する点字学習指導法研修会」（新宿NPO協働推進センター）

11月1日（日）点字普及に関する講演会（「サイトワールド2020」会場）

3. 「新宿 NPO センターまつり」にご協力ください

来場する小学生とその親を主な対象に、点字の名刺づくり体験を行います。
ご協力くださる方は、事務局までご連絡ください。

日時：2020年4月19日（日）9時～16時

※午前だけ、午後だけのご協力も歓迎です。

点字普及協会代表メール：info@tenjifukyu.jp

以上